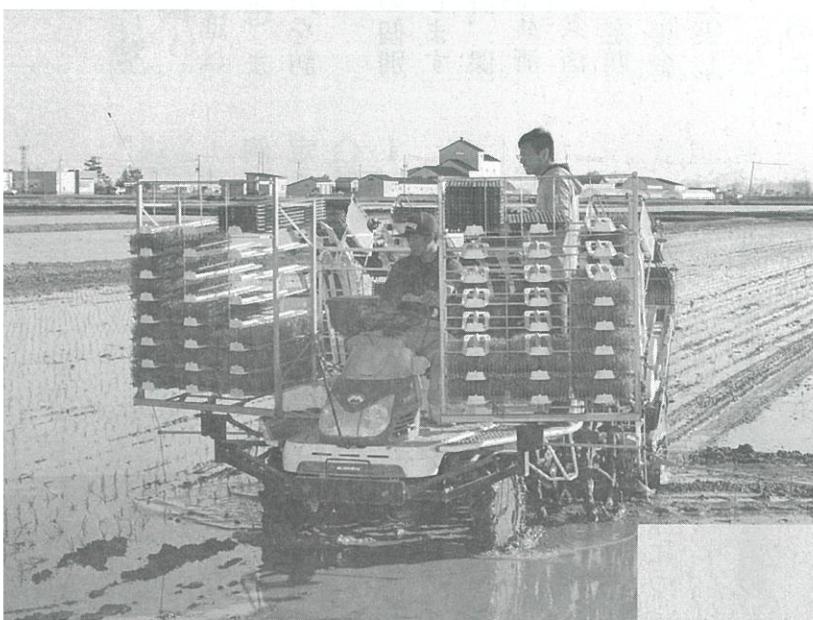




# みのぶ

田植え始まる(5月13日、杉中将人さん圃場、  
岩見沢市峰延町)



小学生田植え作業体験  
(5月27日、今野力さん圃場、美唄市豊葦町3区)

■発行日/令和元年6月1日/No.1406号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

**J A長期共済一斉推進のお知らせ****～6月17日から5日間～**

本年度の長期共済一斉推進は、6月17日（月）から21日（金）までの5日間、2班体制で各戸を訪問させていただきます。

生命系、建物系の各共済の個別プランを作成しご提案いたします。また、生涯保障の終身共済、保障と貯蓄を備えた養老生命共済、先進医療保障を備えた医療共済、お手頃な掛金で確かな保障の定期生命共済、また老後に備える年金共済と介護共済とますます充実した提案で推進を行います。

今回の一斉推進では、多くの二人に応えられるお勧めプランを取り揃えて訪問させていただきままでの、是非この機会にご家族でご相談いただき加入いただきますようお願いいたします。

なお、短期（使用月日）契約で加入いただきましたコンバイン共済の加入につきまして、「コンバイン共済の新規・継続推進」を本年度も実施することで、6月下旬に組合員皆さまのお宅を訪問させていただきますので宜しくお願ひいたします。

**第3回（4月定例）理事会開催**

4月25日開催の第3回（4月定例）理事会において次の事項が決定されました。

**◇付議事項◇**

- 平成31年度農家経済再建対策組合員及び債権管理組合員の選定について
- 理事に対する平成31年度クミカン取引の貸越極度額等の設定について
- 今後の事業運営の方向性について
- 平成30事業年度業務報告書の作成・提出について
- コンプライアンス推進委員会委員の選任について
- 諸規程等の一部改正について
- 大豆乾燥調製貯蔵施設流れセンターの設置について

**第4回（5月定例）理事会開催**

5月24日開催の第4回（5月定例）理事会において次の事項が決定されました。

- 美唄市小麦集出荷調製施設分級機設置工事について
- 令和元年度長期共済（一斉）

推進要綱の設定について  
3. デイスクロージャー誌の作成について

4. 夏期手当の支給について

**おくやみ申し上げます**

岸本 威さん (74歳) 5月7日  
林 義親さん (84歳) 5月10日  
岡部 瑞枝さん (87歳) 5月19日  
美唄市峰延町本町  
(84歳) 5月19日  
美唄市光珠内中央2区

**一報徳一****先んじて節儉する**

翁のことばに、何ほど勉励しても、何ほど勉約しても、年の暮れにさしつかえるようでは、勉励も勉約ではなく、勉約も

「先んずれば人を制し、後るれば人に制され

る。」（史記、項羽本紀）といふことがあるが、僕も先んじなければ役に立たない。おくれたら無駄になるだけだ。世間の人はこの道理に暗いから、例えば千円の身代が九百円に減ると、まず一年は借金して暮らす。だから、また八百円に減るのだ。こうなつて初めて僕約して、九百円で暮らすから、また七百円に減る。するとまた改

革をして八百円で暮らす。年々こんな事をしてゆくから、労して功なく、ついに滅亡に陥るのだ。これがために借金に制せられたのだ。  
いうが、不運などではない。おくられただけに借金に制せられたのだ。  
分かれ目はただこの一撃、先んずるかおくれるかの相違にある。千円の身代でいて九百円に減つたのならば、すみやかに八百円に引き去つて暮らし立てるがよい。八百円に減つたならば、七百円に引出來たときは、手でも足でも断然切つて捨てるようなものだ。これを姑息に流れてぐすぐずしていると、ついに死んでしまつて、悔いき去るがよい。これを先んずるとても及ばぬことになる。恐ろしいではないか。

（夜二二四）

**COOL-BIZ  
『夏の軽装』について**

実施期間 6月1日～9月30日

当JAでは、本年も夏の軽装に取り組むこととし、職員の服装は上着・ネクタイを着用しないなど軽装を実施いたします。

実施期間は、6月1日から9月30日までですので、皆様には、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

（総務課）

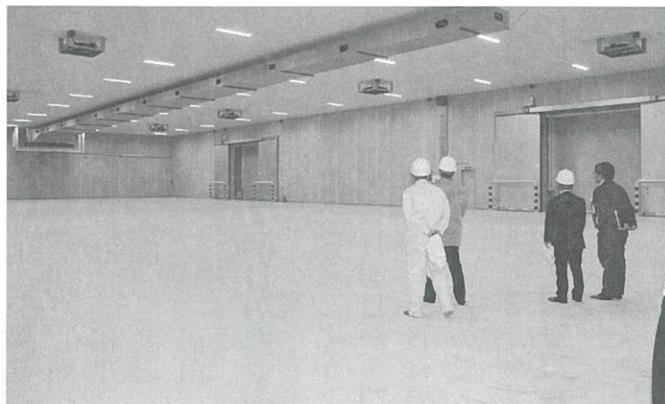


調製施設内部

昨年8月に着工した大豆乾燥調製貯蔵施設が完成し、5月7日に工事の請負業者から当JAに対して完成引渡式が執り行われました。引渡式では施設内を一巡し各設備の説明を受け後に施工業者を代表して設計・管理者を担つたホクレン岩見沢支所の西方憲正支所長から設計図書・鍵が施主の森川組合長に手渡されました。引渡式は森川組合長以下常勤理事と理事の中から選任された建設委員、担当職員等が立ち会い執り行われました。

この施設は本年産大豆から運用されます。

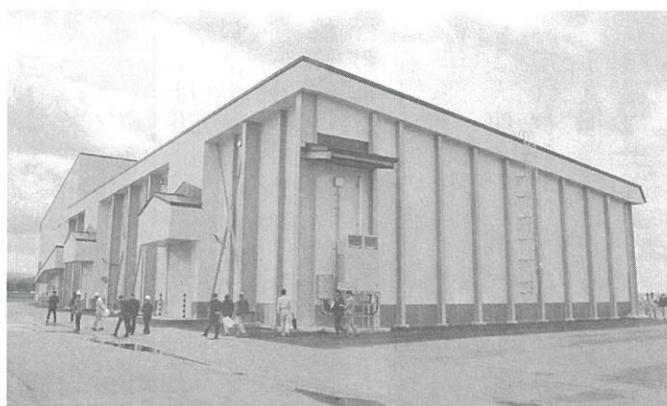
### 大豆乾燥調製貯蔵施設 完成引渡式



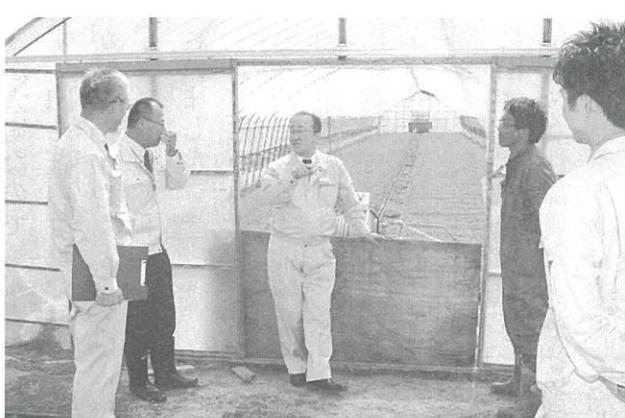
併設の貯蔵庫内部



操作室内部

ホクレン岩見沢支所長から鍵等を受け取る  
森川組合長

外観



伊藤専務理事と高田勝彦さんが対応

岩見沢市長が田植え状況視察に訪れる  
5月20日、岩峰地区に岩見沢市松野市長が田植え作業の視察激励に訪れました。この日は朝から台風並みの強風で松野市長が訪れた上での農家の皆さんには田植え作業をされないように補強作業の最中で13時半頃は最大瞬間風速が20m以上で農家の皆さんには田植え作業を中止し育苗ビニールハウスが飛ばされました。松野市長は高田勝彦さん、伊藤専務理事に苗の生育状況や田植え作業の進捗状況を聞き、「農作業事故のないよう安全に気をつけて頑張って下さい。」と述べ激励していました。

### 岩見沢市長が 田植え状況視察に訪れる



挨拶をする鈴木組合長



田植えをする影山職員

5月26日、コーポさつぼろ組合員活動部の「お米シリーズ第1弾・田植え体験」が美唄市峰延町峰樺三区の山田政信さんの圃場で行われました。45名のコーポさつぼろ組合員の親子が参加し、JA青年部、女性部とNPO法人Efy(天使大学)の皆さんの応援を得て行されました。

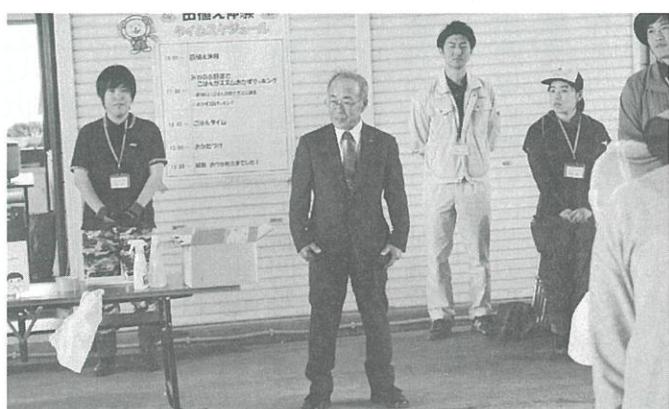
J A担当職員から「苗がこれから順調に生育するために植える深

### 一食育一 コーポさつぼろ

「お米を知る・田植え体験」  
親子で田植え



苗箱を渡す野口職員



森川組合長の挨拶

鈴木組合長の開会挨拶で始まり、安達常務が来賓挨拶を述べました。平成30年度事業報告、収支決算報告、令和元年度事業計画案、収支予算案が原案通り承認されました。また、任期満了により役員改選があり、令和元年度峰延クリーン農業組合の新役員が次の通り決定いたしました。(敬称略)

5月13日、JA三階会議室において、峰延クリーン農業組合の総会が開催され、会員27名が出席しました。

### 峰延クリーン農業組合が 総会開催

組合長	郷野 善徳
副組合長	白石 陽一
会計	田中 良典
監査役	渡辺 泰典
	沼田 昌樹

### 新採用職員2回目の農家実習

本年採用した職員2名が2回目の農家実習を5月20日から23日の3日間行いました。(21日は悪天候で田植え中止)。実習の受入先は前回と同様に吉村理事宅で影山職員は圃場角の田植え、野口職員は苗運び等を行いました。

子どもたちは裸足になり恐る恐る水田に入り土のぬるつとした感触と泥が吸い付き歩きづらいことに戸惑っていました。転ばないようバランスをとりながらも、時間とともに泥だらけになつて慎重に田植え作業を行いました。青年部員・女性部員とJA職員は苗配り等でサポートし予定した面積の田植えは40分ほどで終了しました。

さが大切なので、浅過ぎず深過ぎず、田んぼのコロで付けた印の土が盛り上がつたところに1株ずつ丁寧に植えて下さい。」等と説明されました。



田植え開始前に全員で集合写真

田植え終了後は足などについた泥を洗い落とし、JA担当職員から当JAが取り組む「香りの畦みちハーブ米」と「土生米（どじょうまい）」について説明がありました。用意したどじょうに子どもたちは興味津々、希望者は持ち帰りができると告げると、ビニール袋にどじょうを放し、嬉しそうに持つて帰りました。

昼食は、NPO法人Efyが「野菜肉巻き」「スペイシーカレー炒め」「こまツナマヨ和え」「春野菜のみるきーお味噌汁」の4品を教え、参加家族と一緒に調

理しました。食材は峰延で採れたアスパラや小松菜、ニラ、ハーブ米等の材料を使って親子で楽しく作り食べていました。

今回植えた稻は、9月に稻刈り作業体験、10月に脱穀作業が予定されています。



足がぬかるのでお母さんが支えます



苗を植える目印となるコロコロを行います



Efyの皆さんによる料理指導



どじょうが珍しいようです



作った料理を食べます



全員で調理します

**-食育-**

**峰延小、南美唄小の  
児童が合同で**

**田植え体験学習**



田植え体験に参加の児童の皆さん

5月27日、JA青年部（部長伊藤克哉）とJA女性部（部長吉村俊子）が中心になり食育事業の取り組みとして、峰延小学校と南美唄小学校の2校合同で、合わせて17人の児童が参加し田植え体験学習が行われました。

最初にJA青年部伊藤部長が「好天の中の田植え作業になりますが、熱中症にならないように水分補給をしながら、米作りの重要性や農作業の大変さを学べるように頑張りましょう。」と述べました。田植えについては笛木営農委員長が説明しコロ引きが行われ、児童の代表2人が行いました。その後、児童は裸足になり一斉に水田に足を入れると、その慣れない感触と足が泥に吸い付き歩きづらいことに戸惑いの声を出しながらも、時間が経つにつれ楽しそうな声に変わり、泥だらけになりながら作業を行っていました。水田の中での苗の補充は青年部と女性部の皆さ



青年部の皆さん



曲がらずにコロ引きするのは難しい

最後にJA青年部今野副部長より「田植えで植えた稻の苗は、秋にはいつも食べているお米になります。秋には稻刈り体験と脱穀体験を予定しているので楽しみに待つて下さい」と述べ、無事に田植え体験学習を終えました。



苗の補充は青年部と女性部の皆さん



苗の植え方を习います

んが行い、予定面積の田植えは30分ほどで植え終わりました。  
田植え体験終了後は、それぞれの小学校の児童の代表が「こんなに広い面積を管理している事に驚きました。」「凄く楽しい体験が出来て嬉しかったです。」等と感想とお礼を述べました。

**[連載] ~続・今こそJA!~**

## 【第11回】JA北海道大会決議は決意の表れ

農協法改正法案の可決成立から約2か月後の平成27年11月11日、第28回JA北海道大会が札幌市内で行われました。全道から約2500名のJA組合員、役職員が参加し、大会決議が採択されました。大会議案は大きく3つの柱から成り立っており、その基本目標と具体的な実践方策によって構成されています。

### 第28回JA北海道大会議案

#### 【議案第1号】

北海道550万人と共に創る「力強い農業」の実現

<基本目標>協同の力で農業所得20%増大と新規担い手倍増を実現

#### 【議案第2号】

北海道550万人と共に創る「豊かな魅力ある農村」の実現

<基本目標>食と農を通じて北海道550万人とつながりを実現

#### 【議案第3号】

基本目標を実現するための「各組織の取り組み」

特に従来の大会決議と大きく異なるのは、基本目標の中で「20%増大」「倍増」「550万人」といった数値目標を掲げたことです。数値目標の場合、実績と対比することで目標を達成しているかどうかを容易に判別できますが、目標を達成していないことも一目瞭然になります。あえて数値目標を導入したということはJAグループ北海道としての目標達成に向けた決意の表れとも言えます。

また、実践方策には「収益向上」「トータルコスト削減」など、改革プランに盛り込まれている項目と連動した作りになっています。

今年11月に開催される第29回JA北海道大会では大会決議事項の総括が行われる予定です。JAグループ北海道が自己改革を本当に進めているのか、大会決議を守ることができるのか、その動向を国や報道機関など誰もが注目しているのです。

### 税務職員募集

札幌国税局では、国税局や税務署において、税のスペシャリストとして活躍する税務職員を募集しています。2019年度の採用試験の概要は、次の通りです。

#### 1 受験資格

高卒見込みの者及び高卒後3年を経過していない者

#### 2 申込受付期間

##### (1) インターネット

6月17日(月)～6月26日(水)

申込専用アドレス <http://www.jinji-shiken.go.jp/jukken.html>

##### (2) インターネット申込みができない場合

第1次試験地を管轄する人事院地方事務局にお問い合わせください。

※人事院北海道事務局 〒060-0042 札幌市中央区大通り西12丁目

TEL 011-241-1248

#### 3 第1次試験【基礎能力試験、適性試験、作文試験】

9月1日(日)

#### 4 第1次試験合格者発表

10月3日(木)

#### 5 第2次試験【人物試験、身体検査】

10月9日(水)～10月18日(金)のうち指定する日

#### 6 最終合格者発表日

11月12日(火)

ご不明な点は、札幌国税局人事第2課採用担当(TEL 011-231-5011 内線2315)又は最寄りの税務署(総務課)にお尋ねください。

# JAグループ通信 35

JA北海道中央会



NHK連続テレビ小説「なつぞら」をご覧になっていますでしょうか? JA北海道中央会のフェイスブックページでは、4月23日より「なつぞらに関する投稿」を不定期ながら発信しています。

ドラマでは当時の農業や農村の様子だけではなく、農協(JA)についても、取り上げられていることから、北海道農業をサポートするJAグループ北海道として、ドラマの感想も含め、関連する北海道農業・酪農の歴史や魅力、JAに関する歴史・話題などをお届けしていく予定です。フェイスブックにて検索頂きJA北海道中央会のページに「いいね!」「ページをフォローする」をタップ頂きますと、記事が表示されるようになりますので、ご覧いただけます。

フェイスブックページで「JA北海道中央会」で検索するか、または、こちらのアドレスからどうぞ

⇒ <https://www.facebook.com/jahokkaido>



## JA北海道信連



JAバンク北海道では、スポーツ振興や地域振興の観点から、「日刊スポーツ豊平川マラソン」への協賛を行い、今年で4年目となります。ゼッケンに「JAバンク北海道」ロゴを掲出し、特設ブースには新キャラクター「よりぞう」も駆け付け、一緒に写真撮影をされた方に「よりぞう」シールをプレゼントしました。



「よりぞう」が登場すると、たくさんの子供たちに囲まれ、大会を大いに盛り上げました

## ホクレン



ホクレンは創立100周年を迎えた4月18日、札幌パークホテルにて会員JA・取引先をはじめとする皆様にご臨席いただきて記念式典を開催し、続けて祝賀会も開催しました。祝賀会では100周年の節目にあらためて設定したホクレンの経営理念～わたしたちは生産者のための協同組合として会員JAと連携した事業を通じ、共生の大地北海道から、「農」と「食」の未来を担います～が内田会長より発表されました。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。  
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

## JA共済連北海道



JA共済連では、道内の8校(中・高等学校)にて、スタントマンが危険な自転車走行に伴う交通事故場面を再現し、生徒が事故の危険性を疑似体験する(スケアード・ストレイト教育技法)自転車交通安全教室を開催します。

JA共済連は、本活動を通じて交通事故の未然防止を図り、次世代を担う子供たちの育成と安全な生活環境づくりに貢献していきたいと考えております



## JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



## がんばれ!日本の農業

